

吸い込まれる瞳

しんしょうげんそう

# 29 真青眼相

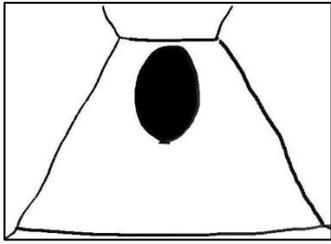
真青眼相。漢字の示すま

ま、仏様の目が青いことを表します。

青と聞いて思いつくのが、海や空です。すべてを包み込むようなそういうイメージが伝わってきます。

金沢の二十一世紀美術館に、アニツシユ・カプーア氏の

「世界の起源」という作品が恒久展示されています。この作品は一面が斜めに傾いた壁に、巨大な黒い楕円形が描かれています。この作品は、壁に描かれた楕円形なのですが、宙に浮いているような、吸い込まれるような、あらとこちらが無くなるような、不思議な空間と化しているのです。実はこの楕円は黒ではなく、青の顔料を用いることでこのような効果を出しているそうです。青には、物事の境が無くなる、という効果があるの



の境が無くなる、という効果があるのかも知れません。

仏様の目が青い事は、老若男女、賢愚貴賤を問わない、すべてを包み込む眼を表しているのです。

## 仏様の

# 三十二相

受験に落ちても大丈夫。法話をしたらその子はまた大学生。一年の長さがわからなくなった三才。若往耳。

まつげぱっちり

ぎゅうげんしょうそう

# 30 牛眼睫相

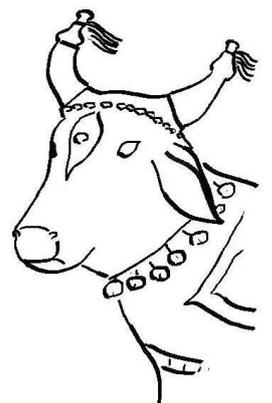
和牛が、世界中で食べられる

る時がくるかもしれません。それぐらい和牛が「WAG YU」として、浸透してきているようです。

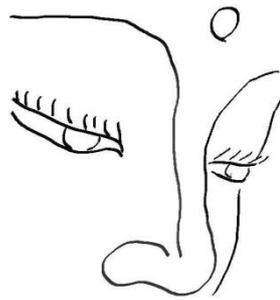
この牛が、インドでは神聖な動物として敬われます。特にヒンズー教の人々は牛を食しません。よく牛が飼われており、牛が道端でふんをすると、窯の燃料や扉の補修材として、壁に打ち付け干してあるのを目撃します。

仏教の経典の中にも、「牛王」がよく例えとして出てきます。何物にも打ち勝つ、どのようなことがあっても乱れない、を表す表現として出てきます。

牛眼睫相とは、仏様の睫毛が牛の王の王の様である。牛王のように、何物にも打ち勝ち、乱れず、一本一本が光り



仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しずつご紹介です。



輝き一人一人を照らすことを表しています。